

ID:	=患者情報!B1			(nab-PTX+GEM) 療法				施行日	クール
患者氏名	=患者情報!B2 殿							入院/外来	入力日
年齢 性別	=患者情報!B6	=患者情報!B7	=患者情報!B8	開始日	年	月	日		
疾患名					開始日	年	月	日	
クール	3	週	投与	1	週	休薬	診療科		
	備考	アブラキサン :Day1,8,15 ゲムシタピン :Day1,8,15			医師名				
適応基準	<input type="checkbox"/> 1st Line <input type="checkbox"/> 2nd Line <input type="checkbox"/> 3rd Line以降 <input type="checkbox"/> 術前 <input type="checkbox"/> 術後補助 <input type="checkbox"/> 進行 <input type="checkbox"/> 再発				告知の有無	P S	同意書取得	<input type="checkbox"/> 済	
		身長		cm	体重		kg	体表面積	0.00 m ²
薬品名	単位	薬品名	単位	血液製剤に関する説明と同意書		<input type="checkbox"/> 済		外来化療加算	<input checked="" type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> 対象外
アブラキサン 125 (PTX:アルブミン懸濁型)	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body	GEM 1000	<input checked="" type="checkbox"/> mg/m ² <input type="checkbox"/> mg/body						

重要 B型肝炎の再活性化 (de novo B型肝炎) 対策として、右記の検査が未実施の場合は、全例スクリーニング対象となります。化学療法開始前or初回投与時に測定して下さい。
 ※詳細については、『化学療法により発生するB型肝炎対策～浦添総合病院バージョン～』をご参照下さい。

レジメン内容

順番	医薬品名	投与量	投与部位	投与スケジュール
①	デキサート注 (3.3mg)	6.6mg	D.I.V	15分
	アロキシ点滴静注バッグ [®] (0.75mg/50mL/袋)	1袋		
②	アブラキサン点滴静注用 (パクリタキセル:アルブミン懸濁型)	<input type="text"/> mg	D.I.V	30分
	生食液 (100mL) ※	100mL		
※残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注				
③	ゲムシタピン注 (GEM)	<input type="text"/> mg	D.I.V	30分
	5%ブドウ糖液 (100mL)	100mL		

血漿分画製剤のため、ロット番号の記録および保存が必要です。

調製法に注意して下さい。 ※アブラキサン点滴静注用 調製法参照
 1バイアル当たり20mLの生食液を抜き取ります。
 残った生食液を全て抜き取り(空の点滴バッグを作成)、必要量を混注して下さい。

インラインフィルターは不要ですので、使用しないで下さい。

	1-①	1-②	1-③	2-①	2-②	確認者	監査者
Day	1	8	15	22	29 36 ...		
アブラキサン	↓	↓	↓	↓	↓		
ゲムシタピン	↓	↓	↓	↓	↓		

注意事項など

- 【払出し～回収まで】
- Goが来たらアブラキサン注を棚から取り出し、管理簿へ記入＋シール貼付する。 ※事前準備はしない
 - 注射箋薬剤部控えにロットシールを貼り、控えをコピーする。 ※控えコピーは「血液製剤(コピー)棚へ
 - 看護部側へは、**注射箋・薬剤包装箱・ロットシール**を払い出す。
 ※注射箋には「実施後、ロットシールを貼り薬局へ処方せんを戻して下さい」シールを貼付する。
 (混注業務は薬剤部のため、薬剤現物の搬送は発生しないため、包装箱にロットシールを貼付して払い出す)
 - 看護部側は投与後、注射箋にロットシールを貼付し、薬剤部へ速やかに返却する。
 - 薬剤部は、実施後の注射箋が戻ってきたら、ロットシールが貼付されていることを確認し、「血液製剤(戻り)棚」に入れる。